

# あそび発見! ウン? ホント?

みんなであそぶプログラム 毎日実施 10:00-16:00

- あそびのカード  
館内にある「ウン」と「ホント」が遊びのカードになりました。
- ウソのまち ..... いろいろな材料をつかって不思議なまちをつくります。
  - 土の木 ..... 土の粘土をつかってみんなで大きな木をつくります。
  - ウソ絵日記 ..... とほもない、でっかいウンをついてください。
  - かがみかがみ ..... 鏡の世界であそびます。
  - ウソキネマ ..... カナダアニメを上映します。
  - クロマキー ..... テレビの中の不思議な世界で遊びます。
  - ウソのおおりレー ..... 「ウソマスク」でちがう自分に変身(山下明美さんのプログラム)
- ◎このほかにも、たくさんの「あそびのカード」があります。内容はどんどん変わっていきます。

あつまるあそぶプログラム 土・日曜日、祝日 14:00-15:00

- ウンのモリ など  
小さな「自分」の大冒険!? ありえない「ウンの世界」をつくります。  
対象/小学2年生以上の子ども 定員/10名 受付/30分前

たべるあそぶプログラム 日曜日実施 11:00-、14:00-

- ウンのききめ  
ウンがテーマのたべる遊び。  
対象/子どもと大人 定員/各回6組 受付/各回30分前

○詳しくは、館内の当日案内をご覧ください。プログラムは予告なく変更することがあります。



あそび発見!  
あそび発見!  
ウン??  
ホント?  
2012.3.17.土-5.6.日  
愛知県児童総合センター  
(愛・地球博記念公園内)  
開館時間=9:00-17:00  
休館日=4/9(月)、16(月)、23(月)  
入場料=中学生以下無料、その他300円  
主催=愛知県児童総合センター  
(財団法人愛知公園協会)

昔から「うそつきはどろぼうのはじまり」と言われます。普段の生活の中では、「ウン」についてはいけないもの。だから、「あそび」の中で、いっぱい「ウン」、ものすごい「ウン」を試してみよう。ルールは「人がいやな思いをするものはだめ!」ということ。「ホント」と思っているものも、実は「ウン」かもしれません。すこしかたまった心をふんわりやわらかくする「ウン」もあります。「ウン!」と思うような「ホント」もあります。自分の目で、耳で、鼻で、手で、感じて確かめてみる。「ウン」の世界と「ホント」の世界を行ったり来たり。楽しい「ウン」、ゆかいな「ウン」で、みんなで大いに笑いましょう。

子どもとおとな、ドキドキ発見!  
ACC  
Aichi Children's Center  
レター  
News Letter 2012 春

愛知県児童総合センター「春季特別企画」  
あそび発見! ウン? ホント?  
子どもとともに育つ「じどうかん」  
あつまれ! 「線」のあそび  
子育てのおはなし/ACCのココがすき! /募集とお知らせ



## 愛知県児童総合センター

〒480-1342 愛知県長久手市茨ヶ廻間乙1533-1  
TEL 0561-63-1110 <http://www.acc-aichi.org/>

開館時間 = 9:00 - 17:00 入場料 = 中学生以下無料、その他300円

3月の休館日 = 5、12日 4月の休館日 = 9、16、23日  
5月の休館日 = 7、14、21、28日

公共交通 ... 地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」から  
機関で リニモ「愛・地球博記念公園駅」下車

車で ... 東名高速・日進JCT経由名古屋瀬戸道路長久手ICから  
足助方面すぐ(愛・地球博記念公園 北駐車場利用)



愛知県児童総合センターは「遊び」をテーマにした県立大型児童館です。1996年の開館以来、子どもと大人がともに、心と身体をフルに活用して遊ぶことで、新しい気づきや実感できる時間と空間を提供しています。また、遊具や遊びのプログラム開発、よりよい児童環境のためのネットワークづくり、セミナー・研修、調査・資料収集、移動児童館など多岐にわたる活動を行っています。



編集・発行 / 愛知県児童総合センター(財団法人愛知公園協会)

# 子どもとともに育つ「じどうかん」

愛知県には、約300の児童館があります。これは、全国でも3番目に多い児童館数です。児童館は、児童福祉施設として相談や援助、子育て支援を行い、子どもや大人、地域が繋がる大切な場所です。児童館の機能を最大限に生かすために、愛知県児童総合センターでは、県立の中核児童館として地域の児童館の遊びの指導者である児童厚生員を対象に、スキルアップと児童の健全育成を推進することを目的に研修会を行っています。

## 児童館初任職員研修

児童館で働くために必要な基礎知識を習得します。今年度は、愛知県健康福祉部子育て支援課の職員の方に講義をしていただき、午後からは臨床心理士の方に「児童館ってどんなところ」をテーマに児童館についてお話しいただきました。



## 児童館職員研修会

財団法人児童健全育成推進財団が認定する「児童厚生2級指導員」資格取得の認定科目に指定されている「児童の発達理論」を始めとした4科目を2日間で行い、基礎知識の習得を行います。



## 児童館館長研修会

地域における健全育成活動の中核施設としての児童館の役割を理解し、館長としての児童館の運営・管理についての知識・技術を習得し、児童の健全育成を推進することを目的としています。今年度は、台風の影響により12月に延期し開催しました。23年の3月に発出された「児童館ガイドライン」について、財団法人児童健全育成推進財団の依田事務局長を講師にお招きし、発出の背景とポイントについて講演いただきました。



## 児童館職員専門研修会

児童館職員としての専門性を深めることを目的としています。東北地方太平洋沖地震発生後、子どもたちの命を預かる児童館も危機管理を再確認する岐路に立っています。沿岸部や築年数が経つ児童館からの要望もあり、今回のテーマは「防災と防犯」。中部大学工学部建築学科の渡辺教授をお招きし、建物構造から考える安全な場所や災害時における職員の動きなどを詳しくお話しいただきました。



				
	<b>線のタイル</b> シュレッダーで切った色とりどりの紙を台紙に貼り、タイルのようにならべます。	<b>線をかさねる</b> ライトテーブルの上に線のシートを重ねると...	<b>線のきもち</b> 「ドンドン」「にゅるり」など音のこぼをいろいろな線の材料でカタチにします。	<b>あつまるあそぶプログラム</b> <b>せんのカタチ</b> 線のカードをつないでゴールをめざす、チーム対抗の遊びです。
				
	<b>線をひく</b> まっすぐ、ぐるぐる、キザキザなど、ひたすら線だけをひきます。	<b>ぐるぐる</b> 土の粘土をぐるぐるにしてつなげます。	<b>せんのとりで</b> 空間いっぱい、みんなで線をはりめぐらし、大きなとりでをつくります。	<b>あそび実験工房</b> 
		<b>あつまれ！「線」のあそび</b>		
	<b>線をくむ</b> 3本の紙テープを組み立てるようにステープラーでとめていきます。	<b>「あつまれ!「線」のあそび」では「線」をきっかけにしたたくさんの新しい遊びにチャレンジしました。</b> 「あつまれ!「線」のあそび」は、平成23年度の愛知県児童総合センター「冬季特別企画」として実施しました。 [2011年12月17日 - 2012年1月22日]		<b>くるくる</b> 長い針金をつかって、くるくるの線をつくります。
	<b>線をつなげる</b> 細長い厚紙に穴をあけ、割りピンでとんとんつないでいくと...			
	<b>たべるあそぶプログラム</b> 	毎週日曜日の「たべるあそぶプログラム」は、つくること・食べることを楽しむプログラムです。つくって食べることもあそびの1つ。身近な材料でつくる体験を通して、食べることの楽しさや大切さが伝わればと思います。だから、料理教室のように上手につくる必要はありません。香りをかいだり、音を聞いたり、目で楽しんだり、家族で声をかけあったり、なによりもつくっている過程を家族で楽しめます。今回の特別企画「あつまれ!「線」のあそび」の中で実施したプログラム「センバー」は、「線」+「食べ物」という発想から生まれたあそびです。線が焼けるにつれて、動いたり、色が変わってきたり、焼ける音を聞いてみたり、香りをかいだり、光にあてて影を見て楽しんだり、割って何にみえるか話したり、楽しみ方はいろいろ。普段はあたりまえだと思っていることをちょっと違う視点から見てみれば、子どもも大人も新しい気づき生まれてきます。最後は使った道具をみんなで洗いプログラムはおしまい。片付けも楽しくなります。		
	<b>「センバー」</b> 使用した食材：米粉、水、醤油 ※「センバー」は冬季特別企画終了後も実施しています。			

## 新しい出発を前にして

この4月、新しい世界に船出をしていく子どもたちが大勢いると思います。子どもたち、ワクワクしていませんか？お父さんお母さんも、楽しみにしておられることと思います。

お母さんとの時間を思いっきり楽しんだ子どもたちが保育園、幼稚園に入園する、濃密な療育を受けた子どもたちがより大きな集団に移っていく、遊びが中心であった子どもたちが学び中心の学校に入っていく...それぞれに、誇らしい気持ちや大きな楽しみとともに、ちょっとした緊張や、不安を感じておられるのではないかと思います。

まだおむつが完全に外れていない、ことばがはつきり話せない、じつとしていない、...さらに勉強や集団の行動についていけるかしら？いじめられたりしないかしら？心配は尽きないものですね。「大きくなった」という誇らしい気持ちや、これまで知らなかった新しい世界、同じ

### 子育てのおはなし

7 臨床心理士 後藤かをり

年頃の仲間の存在は、子どもたちが飛躍的に成長するチャンスです。でも、入園・入学の4月というのは、あくまでも社会的なひとつの区切り、子どもたちの都合で決められたものではありません。どうぞ、「そんなことでは幼稚園（保育園・学校...）に行けないよ」と子どもたちを脅かさないようにして欲しいね。

お母さん方も、どうぞ楽に考えてください。新しい世界の先生たちも、お父さんやお母さんと立場こそ違え、子どもたちの成長を願う人たちです。親が「誰よりもうちの子を」と願うのに対して、先生方は「どの子ども大事」と思う違いがあるだけです。心配なことがあれば（起きたら）、親の気持ちをオープンに話しましよう。親や家族以外の人に愛されるチャンス、他の人と心を開いて問題を解決していくことを子どもたちに見せるチャンスととらえたいと思います。

## ACCのココがすき!



**あつまるあそぶプログラム「せんのカタチ」に参加した親子にインタビュー**



子どもエレベーター! ぜんぶ!!  
本多 嘉月くん  
毎回プログラムが違って飽きません。  
本多 将寿さん(あま市)



チャレンジタワーとあそびのスタジオ1の「ねんど」。来るたびに新しい企画があって毎回楽しめるのが好きです。 藤吉 敦恭さん

「どここのへや」の水色のわっかが好きです。 藤吉 歩南さん

ぜんぶすき!! 藤吉 未琴さん

「ねんど」が好きです。家ではこんなにはできないので。 藤吉 結子さん(春日井市)

## 募集とお知らせ

### 汗かくメディア2012募集中

2011年受賞作品「ビュートレス」

アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム2012「汗かくメディア」では子どもたちが、メディアを通して、新鮮な視点で世界に主体的にかかわり、気づきを広げ、新しいコミュニケーションや表現を可能にする、メディアに関わる遊びのプログラム(メディアアート作品、道具、ワークショップ、パフォーマンス等を含む)を募集します。入賞作品を3作品程度選考し、愛知県児童総合センターとの共同企画として2012年9月、作品を発表していただきます。

応募期限：2012年2月29日[水] 必着  
応募方法：ホームページ及び郵送で提案企画書の応募を受付けます。  
賞典：汗かくメディア賞(3作品) 賞金 100,000円  
詳細はホームページにてご確認ください。  
2012年募集要項  
http://www.acc-aichi.org/asobi\_program/asekaku/2012yoko.html

### 「子ども運営会議」開催

2011年9月18日(日)公募で選ばれた子ども9名による子ども運営会議を開催しました。たくさんの遊びのプログラムを体験した後、児童総合センターのこれからについてたくさんの意見をいただきました。そして、その中から次の三つのことを事業等に反映させ実施しています。

- ・ねんどの手洗い用の水のこまめな交換
- ・土・日・祝日は、「発見遊びの基地」のハンティングワードを屋外でも実施
- ・23年度冬季特別企画でのアニメの上映

児童総合センターでは、これからも子どもたちの生の声を事業等に取り入れていきます。

### 「移動児童館・ゆめたま号」

児童総合センターの遊びを「ゆめたま号」に乗せて児童館へ運び、現地のスタッフも加わって地域の子どもと大人と一緒に遊ぶプログラムです。遊びをとおして、たくさんのお会いを楽しみにしています。平成24年度の募集は県内市町村の児童福祉担当課を通じて4月頃お知らせします。

### 問合せ

愛知県児童総合センター  
Tel 0561-63-1110  
http://www.acc-aichi.org/  
くわしくはホームページをご覧ください